

年間教育計画表

会社名	指部主任者

グッドラーニング！講座名	講座内容 ※一般的な指導及び監督の指針の該当項目	受講開始日	受講終了日
安全講座1 バスを運転する場合の心構え	(1) バス事業の社会的役割 (2) バスによる交通事故発生状況 (3) 模範となる運転者としての心構え		
安全講座2 バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと	(1) バス運行に係る法令 (2) 日常点検 (3) 点呼		
安全講座3 バスの構造上の特性	(1) バスの特性に合わせた運転 (2) バスの内輪差 (3) バスの内輪差		
安全講座4 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	(1) 車内事故の防止 (2) 乗客の安全を守る (3) 災害発生時の対応方法		
安全講座5 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項	(1) 乗降時の安全の確保 (2) 高齢者転倒の危険性		
安全講座6 運行路線・経路における道路及び交通の状況	(1) 適切な運行経路選択の必要性 (2) 異常気象情報とそれに基づく対応 (3) ヒヤリハット情報の共有		
安全講座7 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	(1) 「見る」ことの重要性和限界 (2) 見える危険と見えない危険 (3) 危険予測ポイント (4) 指差呼称と呼称運転		
安全講座8 運転者の運転適性に応じた安全運転	(1) 適性診断のねらい (2) 適性診断の種類 (3) 適性診断のテスト内容 (4) 適性診断結果の活用方法		
安全講座9 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	(1) 過労状態の常態化 (2) 過労運転の防止策 (3) 飲酒運転の危険性 (4) 飲酒運転に対する罰則		
安全講座10 健康管理の重要性	(1) 健康起因事故 (2) バスドライバーが注意すべき症状 (3) 健康管理のポイント		
安全講座11 安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法	(1) 運転支援装置の過信は禁物 (2) 運転支援装置の誤った使い方 (3) 道路の最先端技術		
安全講座12 ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有	(1) 「左折時自転車巻き込み」 (2) 「雪道での湿然運転」 (3) 「先急ぎのヒヤリハット」		
自社で定める項目	実施内容	開始日	終了日
ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	ドライブレコーダーの記録により加速装置、制動装置及びかじ取装置の急な操作の有無並びに車間距離の保持その他の法令の遵守状況等を確認する		